

柘植地域

# まちづくりだより

## 第285号

発行

柘植地域まちづくり協議会事務局  
三重県伊賀市柘植町一〇六四七番地  
(柘植地区市民センター内)

〒五一九一四〇二  
電話 四五八八八〇 FAX 四五八八八三

発行日

2022(令和4)年9月30日(金)



柘植地域俳句コーナー

まつ青な

空へ澗刺

百日紅

内田 泰成

### 各『部会・委員会代表者会議』開催

令和4年度 第2回・各『部会・委員会代表者会議』が8月26日(金)午後7時半から、市民センターにて開催されました。

5つの『部会』(人権・同和部会/健康・福祉部会/生活・環境部会/教育・文化部会/産業・交流部会)及び、5つの『委員会』(防災委員会/人権啓発推進委員会/福祉ネットワーク会議/スポーツ推進委員会/公共交通の在り方検討委員会)の各・部会長、委員長から此れ迄の活動報告及び今後の活動計画について概要発表が有り、各課題に関して協議した次第です。

続いて、令和5年度「組織体制」の件で部会・委員会の編成(統合)及び新規部会の検討に関して、代表者の意見意向を求め、特段の意見が無く、次年度も現行通りの組織(5部会・5委員会)で活動する事を確認した次第です。

次に令和5年度以降の予算編成に関して

「地域包括交付金」が年々減額されて行く事に鑑み、種々の諸経費を削減せざるを得ない状況に為って居ります。



尽いては、まち協役員報酬の減額・広報等々配布手数料及び、まちづくり活動費の削減、事務局経費の節約等が必要不可欠な命題で、削減額の総計は数十万円を見込んでいます。

加えて、各部会・委員会の個々の「事業計画」に関しても、少しでも経費が抑えられる様、内容を精査した上での予算計上を求められている現況です。

### ◆◆◆ 行事予定 ◆◆◆

#### 各部会 委員会の今後の行事予定

九月〜十一月(於) 柘植地区市民センター

九月十六日 20時〜 『第2回 防災委員会』

九月二十九日(木) 14時〜 『健康講演会』

講師/紀平久和 院長(健康福祉部会)

十月二日(日) 午後〜 『柘植地域一斉 防災訓練』

十月二十九日(土) (予定) 『シンポ

カボチャ・コンテスト』(産業交流部会)



十一月六日(日)『忍者トレイルランニング  
レース大会』へスポーツ推進委員会へ

十一月十三日(日) 9時半〜『コンマク  
作り研修』

十一月二十日(日) 9時半〜『ミツマタ  
植樹』へ産業交流部会へ

◆ジャンボカボチャ「アトランティック  
ジャイアント」の生育状況は如何でしょう  
か? 苗から育てて戴いて数か月。皆さん  
のお宅ではどんな形状に育って居ますか?  
10月の最終土曜日(29日)市民センタ  
ーにてコンテストを予定しています。

奮ってご応募の  
程、お待ちしております  
おります。

## 【サークル・教室紹介】第9弾

### 『若菜句会』 幹事 森本 豊美

『若菜句会』は「山繭」主宰の宮田正和  
先生のご指導のもと、平成三年一月に故・  
石河加代さんのお声掛けで発足しました。  
当初の会員は十二名で、現在は八名のメ  
ンバーが、毎月一回、柘植地区市民センタ  
ーを会場に、午後一時半から約二時間句会  
を開いています。

句会に春・夏・秋・冬とその時節に合っ  
た俳句を八句から十句作り持ち寄ります。  
次に短冊(細長い白い紙)に一句ずつ書  
いたものを出席者の人数分に分けて、各々  
が一枚の紙に転記します。その後、互選と  
言って転記した紙を参加者全員に回し、自  
分の好きな俳句を七句選び順番に発表して  
いきます。自分の俳句が選ばれた時はとて  
も嬉しいです。  
最後に、誰にも採られなかった俳句を皆  
で推敲し、俳句を作った時の状況や感じた  
事を出し合って添削し合います。

物をよく見て、この景をどう詠むか、自  
分の気づきや感動をどんな言葉で十七音に  
まとめるのか、俳味のある言葉をさがし出  
すのも俳句の醍醐味です。

また、選んだ言葉が十七音の中にぴった  
り納まった時の喜びも魅力です。  
これからも句友とともに楽しんで俳句を  
作りたいたいと思っています。



## 令和4年度 第2回 『防災委員会』 開催されました

9月16日(金)午後八時から、コロナ禍を考慮し、第2回目の『防災委員会』は規模を縮小して、柘植地区市民センター・ホールにて開催されました。

来たる10月2日(日)午後から、実施予定の『柘植地域一斉防災訓練』を控え、可能な限りの感染対策を行い参加者を限定(各区防災委員と事務局員、合計22名が出席)して実施した次第です。

主たる議事は、①令和4年度 柘植地域まちづくり協議会・合同防災訓練の細部実施要領について ②防災委員会 年間行事予定(次月以降)について ③その他「令和4年度 柘植地域まちづくり協議会・防災委員会名簿」(7月1日・改正版)について、服部事務局長から説明が有りました。

主旨内容は、8月1日に戸別配布された【合同防災訓練のお知らせ】の補足事項として、①自助訓練については、「大規模災害」時、自分が助からなければ、家族や隣人も助けられない。其の為の準備として日頃から避難時の携行品や備蓄資材の準備を怠らない様に時間活用して欲しい。

②初動リーダーの実員訓練については、各・

指定避難所に於いて「避難所」の開設要領に加え、「ダンボールベッド」とパーテーション代わりになるテント設営体験の要領説明が有りました。

最後に住民の皆様に向けた「伊賀市防災・情報アプリ(HAZARDON/ハザードン)についての「アンケート」実施要領」についても説明が有りました。

「一年の中のたった半日の訓練ですが、予期せぬ災害発生時には、必ず役に立つ訓練です。家族及び地区住民が揃って、訓練に参加しましょう。」と呼び掛けられた次第です。

◆ 令和4年度 『柘植地域合同防災訓練』の日時・場所

【日時】 十月二日(日) 午後一時～

【場所】 柘植地域

【参加者】 柘植地域住民

天災は 忘れた頃に やって来る

〈寺田寅彦〉明治く昭和前期の物理学者  
東京帝国大学・地震研究所、理化学研究所、  
教授／随筆家・俳人 【天災への啓蒙句】

「喉元過ぎれば熱さを忘れる」・・・どれだけ苦しかった事も、過ぎ去れば忘れて仕舞うのが人間の常・・・矢張り、「防災の基本」に立ち返り、『有備無患』が肝要。【備え有れば、憂い無し】で参りましょう。



◆年内のイベント予定◆

■いがまち展覧会・十月二十九日(土)  
〜三十日(日) ふるさと会館

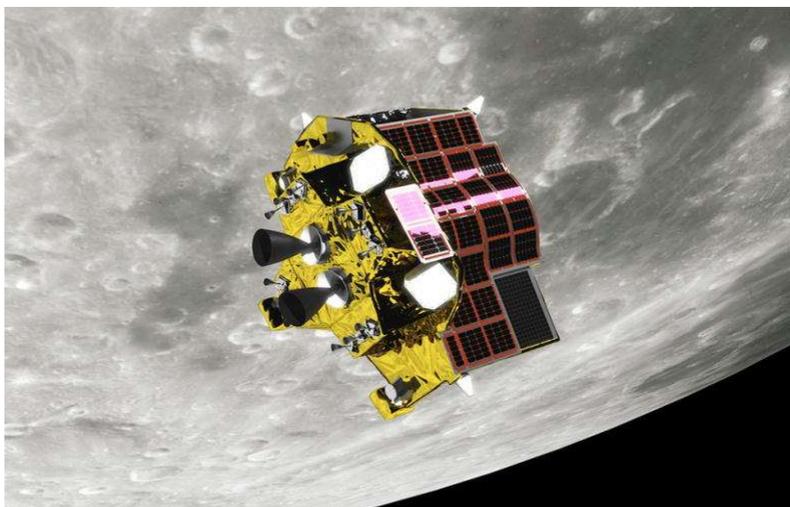
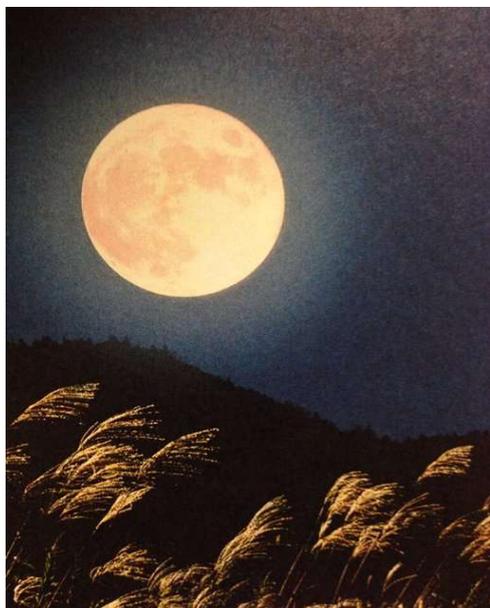
■しぐれ忌・十一月十二日(土) 萬壽寺

【教育文化部会・主催】

■歴史遺産巡り・十一月十九日(土)

9時〜 柘植地内

■クリスマスコンサート・十二月十七日(土) 又は、十八日(日) 市民センター



▲日本初の月面着陸機 S L I M スリム

★☆☆ 編集後記 ☆☆☆

▼本年も残すところ後三月、瞬く間に時が  
往き過ぎ早仲秋。陰曆十月の別称「神無月」  
(かななづき)の由来は、俗に全国の神々  
が皆、出雲大社に集まり、諸国から「神が  
居なくなる月」の意から来ています。

▼名月や池をめぐりて夜もすがら(松尾  
芭蕉)・・・中秋の名月を眺めながら、  
池の周りをそぞろ歩いて趣を楽しんで居た  
ところ、いつの間にか夜が明けてしまった。  
▼此の句は芭蕉・四十三歳の作で江戸深川  
に在る芭蕉庵に門弟達が集まり月見の会を  
催した席で詠まれた句。因みに句中の「池」  
は、かの有名な「古池や蛙飛び込む水の  
音」の句でも詠まれた芭蕉庵の傍の「古池」  
だと云われています。

▼JAXA(宇宙航空研究開発機構)が、  
令和4年度中に打ち上げ予定の月面着陸機  
「SLIM」(スリム)／今後の月探査に  
不可欠な高精度着陸を「はやぶさ・同2」  
で実証した小型探査機技術で実現する計画。  
将来の月や火星等の惑星探査に生かす。

▼月探査機の着陸精度は此れ迄1km以上の  
誤差があったが、100m以内の高精度を  
目指す。狙った所へのピンポイント着陸は  
月や火星の起源や歴史の解明に必須で小惑  
星探査で培った技術を活かします。(清水)